

富谷市農業委員会
～ 摘みたての幸せ、富谷から ～

作成日：令和8年2月27日

(1) 富谷市の農業の特徴

宮城県のほぼ中央に位置し、市域面積は49.18km²で豊かな自然に恵まれた標高100m程度の丘陵で四季を通じて過ごしやすい気候です。

南北には国道4号、東北自動車道が通り、東西には仙台北部道路が走っており、仙台市中心部である県庁まで約18キロメートル、泉インターチェンジまで約5キロメートルという距離にあり、仙台市に隣接する地域特性を活かし、多くの住宅地が開発分譲され、仙台市のベッドタウンとして発展しています。

一方で、都市近郊でありながら歴史的・地域資源を活かした農産物の生産や、一次産業と生活・観光が結びついた取り組みも行っています。

富谷ブルーベリーが知られており、地域の特産品として栽培・直売・摘み取り体験などが行われています。無農薬・化学肥料節減で栽培する農園もあり、観光農業としての魅力もあります。

富谷茶の復興プロジェクトなど歴史的農作物を再生する取り組みも行われています。



(2) 就農支援体制

- ・就農随時相談受付
- ・農業委員及び農地利用最適化推進員による就農個別相談会の実施（予約要）

(3) 市町村独自の就農支援

- ・ブルーベリー産地拡大事業補助金
 - 【対象】 苗木・肥料・資材購入経費
 - 【補助率】 1/3（予算の範囲内）
- ・農業改良事業奨励補助金
 - 【対象】 ビニールハウス設置経費
 - 【補助率】 2/3（上限100万円）
- ・環境整備事業補助金
 - 【対象】 排水施設整備・特産品栽培に係る客土等に要する経費など
 - 【補助率】 2万円以上 1/2（上限50万円）

(4) 移住・定住等に関する支援

- ・富谷市オンライン移住相談予約ホームページ

(5) 求める人材

人と人とのコミュニケーションを大切に、地域農業者と協力しながら、地域の担い手を目指す意欲のある方

ブルーベリーの場合は、富谷市ブルーベリー生産組合に加入し、一緒に活動に取り組める方

(6) 先輩就農者の例

新規就農するにあたり、地域の特産物にも取り組みたいと考えていたところ、縁あって富谷市ブルーベリー農家さんの農地を継承し就農することができました。

栽培は未経験だったものの、地主さんのご指導や富谷市ブルーベリー生産組合の方々に相談に乗ってもらいながら、生産組合や地元の直売活動組織に加入したことで、販路も確保でき、新規就農1年目からしっかり売り上げを作ることができています。

(7) 紹介可能な農地情報（※最終的には地権者の方の意向によります）

(お問い合わせ先)

- ・就農随時相談、就農支援補助金については、農林振興課へ

電話 022-358-0523

メールアドレス nourin@tomiya-city.miyagi.jp

- ・農業委員及び農地利用最適化推進員による就農個別相談会については、農業委員会

へ

電話 022-358-0523

メールアドレス nourin@tomiya-city.miyagi.jp

- ・富谷市オンライン移住相談については、企画政策課へ

電話 022-358-0517

メールアドレス kikakuseisaku@tomiya-city.miyagi.jp